

【認定こども園について】

報告者：文教厚生常任委員長 渡邊圭太



保育園と幼稚園の両方の良さを合わせた保育を提供する『認定こども園』の設置が求められている現在、富加町においても次年度からとみか保育園をこども園に移行すべく進めています。

そこで H28 年度から保育所型認定こども園として保育事業を進めている長野県松川村に視察に行きました。

人口 9,771 人の松川村には保育園 2 園がありますが、富加町と同じく幼稚園はありません。そのため保育園に行けない子どもたちは村外の幼稚園に受け入れてもらっている状況です。しかし、保育園を認定こども園にすることで村外に出ていた子どもたちを受け入れることができました。同じ園の中に認定区分が違う子どもたちがいることで事務としても煩雑となり、利用者としても自分がどの区分にあたるのかと分りにくいことはありますが、利用時間の取



り決め等をはっきりさせ、延長保育、預かり保育を活用することで、子ども達が楽しく過ごせる環境を作り出せていました。

「富加町の子どもたちは富加町でみる」。そうあるためには富加町の保育園に通える環境にしなければなりません。次年度から富加町のこども園を開園するためにも、子どもたち・保護者の方たちにとってより良い事業内容・条例の制定を進めていきたいと思っております。